

2 経営発展支援による担い手の育成

1 対象

担い手事業対象農家20戸，和泊町認定農業者連絡協議会226戸，知名町認定農業者連絡協議会177戸，与論町認定農業者連絡協議会87戸，和泊町農業青年クラブ7人，知名町農業青年クラブ12人，与論町自営者クラブ16人，新規就農者43人，次世代人材投資資金受給者56人，花き若手女性農業者（沖永良部）5人，畜産若手女性農業者（与論町）9人

2 課題を取り上げた理由

- (1) 担い手の高齢化，減少が進む中，経営の合理化や発展及びその円滑な継承に資する条件を整理し，家族農業経営の活性化を図るとともに，農業経営の法人化についても推進を図る必要がある。また，経営改善支援を行うために，経営管理能力の向上を図り，経営状況の実態把握や経営診断，計画作成支援を行う必要がある。
- (2) 将来の担い手を確保・育成するため，継続的に新規就農者や青年農業者，女性農業者への技術習得支援や経営実態を把握しながら，課題解決能力の向上を図る必要がある。

3 活動内容

(1) 担い手の経営改善支援

ア 経営診断の実施と経営改善計画検討実践支援

担い手支援対象農家20戸の決算書をもとに経営診断を実施し，問題点の抽出や改善策の提案と実践支援を行った。また，資金借入を希望する認定農業者や認定新規就農者に対し，経営改善計画作成支援を行った。

イ 経営管理能力向上支援

各町担い手協議会主催の複式簿記記帳研修会（6月；基礎研修，7～12月；定期入力研修，1～2月決算研修）を通じて支援を行った。

ウ 農業経営法人化設立支援

花き法人化志向農家2戸の設立支援（設立にあたってのメリットやデメリットの整理，設立の手順と事前準備，留意点等の情報提供）を行った。その際，1戸に対してはかごしま農業経営・就農支援センターを活用し，税理士による個別相談会（経営診断に基づく法人化の意義），農業経営発展研修会（円滑な経営継承）を開催した。㊦

エ 家族経営協定締結支援

新規就農者研修，女性農業者研修や個別説明会等で啓発（締結の目的・意義）を行うとともに，家族経営協定締結書作成支援を4戸に行った。

(2) 若手農業者の基礎技術確立と経営管理能力の向上

ア 課題解決能力向上支援

農業青年クラブ員を対象に14人（和泊2人，知名6人，与論6人）のプロジェクト推進重点対象者を選定し，個人プロジェクトの課題設定や課題解決の取組支援を行った。併せて各町農業青年クラブが行う共同プロジェクト活動を支援した。

また，青年農業者会議に向け，各プロジェクト及び意見発表の発表支援を行った。㊦

イ 新規就農者支援

基本技術の習得を図る新規就農基礎講座（病虫害，農作業安全，土壌肥料，畑かん水利用，農業経営，家畜飼養）を開催した（与論島はWeb参加）。

また，関係機関や指導農業士とともに，部門別研修会及び個別支援（巡回指導）を行った。また，新規就農者の営農確立・定着に向けたカウンセリングや経営シミュレーションを実施した。



新規就農基礎講座



現地就農トレーナー研修

(3) 女性農業者の能力向上支援

ア 技術・経営管理能力向上支援

和泊町の女性農業者組織（スマイル&フレッシュの会）に対し、花き販売業者を招き、近年の花きの消費動向や販売方法、産地からの情報発信について学ぶ研修会を実施した。また、研修会後にアンケートを実施し、理解度及び次回研修会の要望を把握して活動支援を行った。

㊦

与論町では、経営改善意欲の高い生産牛を飼養する女性農業者12人を個別巡回し、各人の経営課題について検討を行うとともに、組織の立ち上げ及び女性農業経営士認定に向けて誘導した。併せて、母牛の繁殖率向上と自給飼料生産の研修会を開催し、技術向上支援を行った。㊧

4 活動の成果

(1) 担い手の経営改善支援

ア 経営診断の実施と経営改善計画検討実践支援

担い手を対象に経営分析（20戸）と経営改善計画作成支援（13戸）を行った結果、目標設定や見直しが必要な点の整理ができ、基本構想達成経営体が1戸増えた。



経営改善計画作成支援

イ 経営管理能力向上支援

新規就農者等7戸が新たに複式簿記記帳を開始した。



パソコン簿記基礎研修



パソコン簿記定期入力研修

ウ 農業経営法人化設立支援

支援した2戸のうち、1戸が6月に法人を設立し、1戸が税理士からの経営診断を踏まえての法人化のメリットやデメリット等について助言を受け、今後、後継者が就農予定の2～3年後に向けた中長期計画を作成することになった。㊨

また、農業経営発展研修会には24人が参加し、経営継承パターン別の資産の移動方法や課税関係など、円滑な経営継承のあり方についての理解が深まった。㊩



農業法人化個別相談会



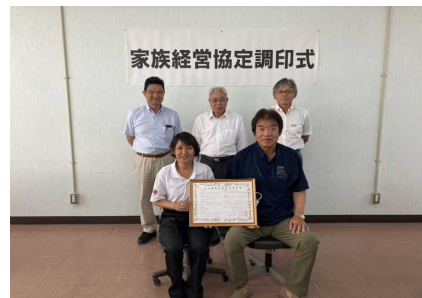
農業経営発展研修会

エ 家族経営協定締結支援

各町担い手協議会，農業委員会と連携し，5戸（和泊町3戸，知名町1戸，与論町1戸）の農家が締結（親子間：1戸，経営主夫婦間：3戸，経営主と後継者夫婦間：1戸）した。



親子間の家族経営協定締結農家



家族経営協定調印式

(2) 若手農業者の基礎技術確立と経営管理能力の向上

ア 課題解決能力向上支援

地区青年農業者会議で，個人プロジェクト発表（2人），共同プロジェクト発表（2人），将来の営農目標について意見発表（1人）を行った。㊦

共同プロジェクト活動では，和泊町農業青年クラブが本年度から新たにアセロラの試験栽培に取り組み始めた。9月には先進地である沖縄県に視察研修を行い，栽培面の注意点や販売実態，加工事例等について学んだ。㊦

知名町農業青年クラブは，令和2年からパッションフルーツ栽培に取り組み，品種の検討や収益性，労力について検討してきた。想定と異なる結果もあったが，チャレンジすることの大切さを学ぶとともに，クラブ活動の活性化につながった。㊦

与論町自営者クラブは昨年度から引き続き「養蜂」に取り組んだ。今年度は，活動で得られた約20kgの島内産蜂蜜を直売し，わずか30分で完売できた。これらの結果，クラブ員間の更なる連帯感が生まれ，かつ，クラブ活動の認知度向上につながった。㊦



地区青年農業者会議



和泊町4HC視察研修



知名町4H C定例会



与論町4H C生産はちみつ販売

イ 新規就農者支援

新規就農基礎講座には、延べ45人（沖永良部島10人，与論島35人）が参加し，営農に関する基礎的な知識の習得が図られた。特に与論島では，畜産未経験就農者にも声かけを行い，Web方式で開催したことで，多くの参加者があった。

部門別の研修会や個別支援により，経営安定に向けた支援を実施するとともに，関係機関連携のもと，担当者会の開催や新規就農者の状況調査を実施することができた。

関係機関や指導農業士とともに，新規就農者35人（和泊町12人，知名町18人，与論町5人）の巡回指導を行った。また，3人の新規就農者に対してカウンセリングや経営シミュレーションを行い，短期・中期の活動計画や技術改善目標の見直しができた。

(3) 女性農業者の能力向上支援

ア 技術・経営管理能力向上支援

和泊町女性農業者組織の研修会後のアンケートでは，「販売の現場に行って，どのように加工されて売られているのか調べたい」，「自分の生産した花を魅せる方法を学びたい」などの声があり，技術・経営管理能力向上の意識高揚につながった。^㊸

与論町での女性組織「よろん和牛女子」が8月に設立され，研修会の開催により飼養管理技術向上が図られるとともに，会員相互の親睦が深まった。また，会員のリーダーである2人が女性農業経営士に認定され，組織活性化の原動力となった。^㊹



花き女性農業者研修会



よろん和牛女子のワークショップ

5 今後の課題

(1) 担い手の経営改善支援

経営改善意欲のある担い手への継続した技術・経営改善支援，法人化支援

(2) 若手農業者の基礎技術確立と経営管理能力の向上

若手農業者の課題解決能力向上及び新規就農者への継続した支援

(3) 女性農業者の能力向上支援

継続した組織・個別活動支援による女性農業者の育成

6 担当した普及職員（○印はチーフ）

○原口和幸， 當直樹， 大久保剛， 田中慶， 西裕之， 本山美月